# 水彩畵夏期講習會規定

會場 鎌倉建長寺內本派普通教場

一會期八月二日より二週間

講習課目 墨繪 水彩畵 透視畵法 講話 實習は 戸外寫生を

主とし、

初學者には時々靜物寫生をなさしむ

會費 講師 記名料金壹圓 大橋正堯氏 大下藤次郎氏 講習料金貳圓 其他本會研究所 (講習課目の數 12 講 より 諸 增

イン〇ライト・レッドのバアント・シーナ(インデゴー〇オルトラマリン 種を備へられたし〇チャイニス・ホワイト〇ガンボーデ 水彩なればワットマン紙若干。繪具箱。 書學紙若干。 書板。消ゴム。 小刀。 HB印 會研究所生徒は記名料を要せず 差支なし 一尺程、 スの類。戶外寫生用として三脚床几の類必要也。 ○エロー・オーグル○ヴェルミリオン○グリムソン・レーキ又はカ 習は 他に透視畵法講習用としてノート 各自技倆の程度に應じて教授する故極めて初學の人にても入會 替東京六九六三番)へ申込むべし〇婦人入會差支な 書に記名料を添 申込期限 本會 4 友及び『みづゑ』特別讀者地方講習生は 七月二十日但 へて東京 小 講習生の 一其際學歷職業年齡等を記 石 jij 畫板o 區 携帯すべき器具は墨繪 В ブックー冊。 關 B印鉛筆若干。 口 駒 井 B印鉛筆。 町 但繪具は 一番地 記 三角定規。 (雌黄に 名料生 水筒。 必ず左の十 留鋲四 春 たる入 T な 額 可な 個 2

又同

宿

て宿料茶代心附共一

七月二十日迄に申込むべし圖講習生は八月二十日午前七時迄に會場に參

生の迷惑となるべき行為を禁ず國指定の宿舍に

入らんとする者は

飲酒を許さず

コバルト〇セピア國本會指定の宿舍は鎌倉雪ノ下鶯谷(八幡社西)丸屋

日金六十錢■指定の宿舍内にては

叉同 種を備へられたし〇チャイニス・ホワイト〇ガンボーデ(雌黄にて可な イン〇ライト・レッドのバアント・シーナ(インデゴー〇オルトラマリン 七月二十日迄に申込むべし日講習生は八月二十日午前七時迄に會場に參 コバルト〇セピア國本會指定の宿舍は鎌倉雪ノ下鶯谷(八幡社西)丸屋 スの類。戶外寫生用として三脚床几の類必要也。但繪具は 〇エロー・オーグル〇ヴェルミリオン〇グリムソン・レーキ又はカーマ て宿料茶代心附共一日金六十錢圖指定の宿舍内にては 宿生の迷惑となるべき行為を禁ず

指定の宿舍に入らんとする者は 他 講師 に透視 は八月一日迄に丸屋に出張すべし 憲法講習用としてノートブック一冊。 三角定規。 飲酒を許さず 必ず左の十

明治四十二年六月

## 日本水彩畫會

申込むも差支なし に申込まれ は 要塞地 たし 一帶にして寫生の 鎌倉地 方の出席者は雪の下百二十番地大橋正堯氏 許可を受くる上に都合あればなるべ く期

## 北越之部

一 會場 三島郡出雲崎尋常高等小學校

一會期八月二十二日より一週間

一講師 大下藤次郎氏

**會費** 金壹圓

人入會差支なし 期限 出雲崎尋常高等 七月二十日 小學校內三島郡北部洋畵會へ申込むべ 但 其際入會願 書及會費を添 T 新潟

12 7 取 扱ふべ 0 は前項に同じ 宿料 は 日 ■用貝購入望の方は前以て申込まるれば 金三十五錢なり 細 0 事 項は本會 本會

明 治四十二年六月

### 本 水彩 論

方へ申込むも差支なし 一鎌倉は要塞地帯にして寫生の許可を受くる上に都合あればなるべ 前に申込まれたしに鎌倉地方の出席者は雪の下百二十番地大橋正堯氏 く期

#### 北 越 之 部

三島郡出雲崎尋常高等小學校

會期 八月二十二日より一週間

講習課目

水彩畵(實習及講話

講師 大下藤次郎氏

金壹圓

島郡出雲崎尋常高等小學校內三島郡北部洋畵會へ申込むべし〇 申込期限 七月二十日但其際入會願書及會費を添 へて新潟縣三

婦人入會差支なし

にて取扱ふべし。宿料は はされたし 携帯の 用具は前項に同じの用具購入望の方は前以て申込まるれば本會 一日金三十五錢なり 一詳細の事項は本會 へ問合

明治四十二年六月

Posterios Properties Posterios 島 郡 北 部 洋 畵

二十八、三十、三十一、四十一、四十二、四十三に詳なり右入用の方へは一部金十錢の割にて送付 一青梅及び長野、大阪、澁、奈良等に於て開きたる講習會の記事は『みづゑ』十八、二十二、二十三